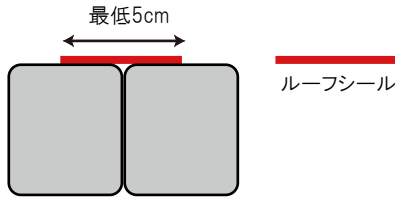


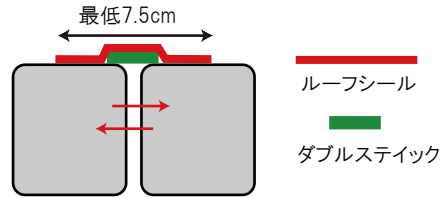
① フラットなジョイント

フラットなジョイントは、最低5cm幅のルーフシールを使用し、ルーフシールの中心をジョイントに合わせることで、ジョイントの左右にそれぞれ2.5cmのテープが接着されるように施工します。施工時にテープを引っ張らないように注意します。



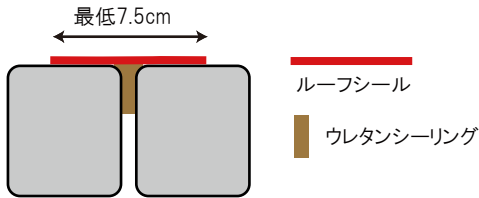
② 動きが大きい場合

動きが特に大きいジョイントにはダブルスティックを先にジョイント部に貼り、7.5cm幅のルーフシールを上から貼ります。ダブルスティックは、柔軟性が高くルーフシール以上に動きに追随します。



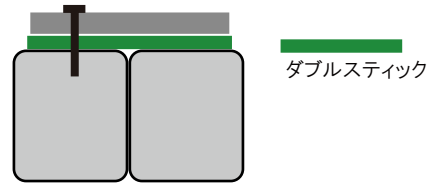
③ 隙間のあるジョイント

隙間のあるジョイントには、溶剤を含まないウレタン系シーリング材を充填し隙間を埋めて下地を安定させてから、7.5cm幅のルーフシールを貼ります。溶剤を含むシーリング材はルーフシールに影響を与える場合があります。特にキシレンは避けます。



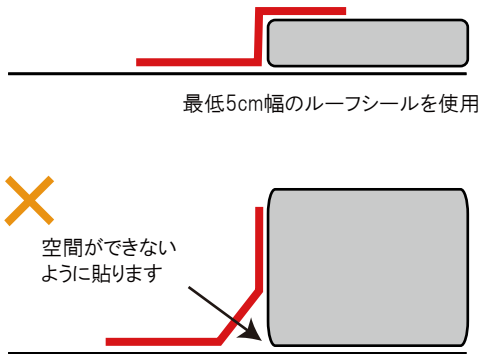
④ ねじ又は釘を打つ場合

エターナボンドは収縮しないため、ねじや釘を打ち穴があいても隙間ができることはありません。ねじ穴に追随し易いダブルスティックを単独で使用、又はルーフシールと併用します。



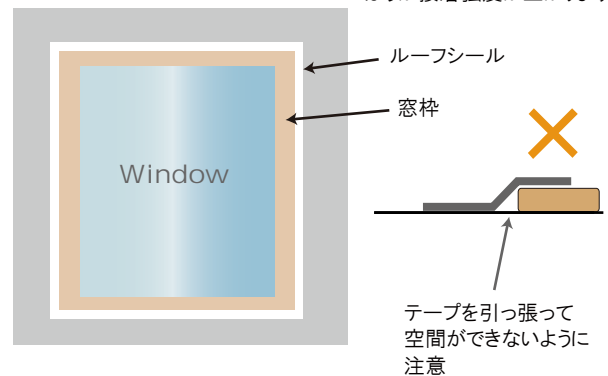
⑤ 段差のあるジョイント、直角のジョイント

段差のあるジョイント、直角のジョイントは、空間ができないように注意します。最低5cm幅のルーフシールを使用します。



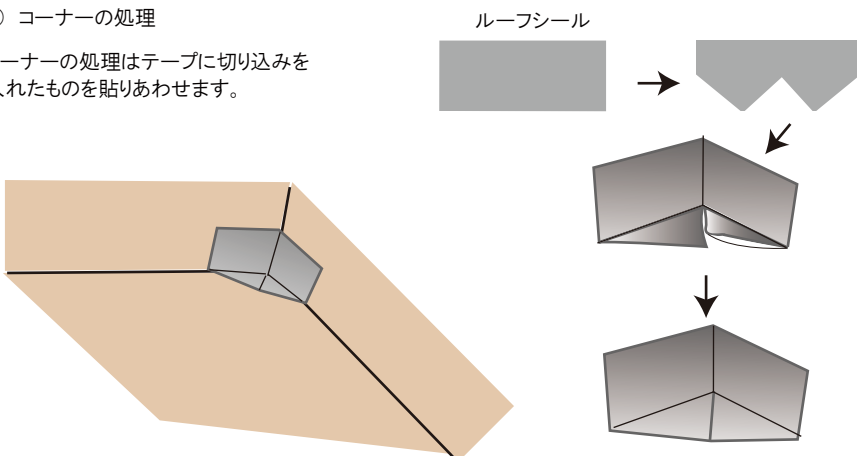
⑥ 窓枠

窓枠の防水も5cm幅のルーフシールが理想ですが外観上難しい場合は2.5cmのルーフシールを使用します。段差に空間ができないように特に注意して施工します。既存のシーリング材にも接着しますが、撤去したほうが接着強度が上がります。



⑦ コーナーの処理

コーナーの処理はテープに切り込みを入れたものを貼りあわせませす。



テープ厚み:

ルーフシール35ミクロン
 (マイクロシーラント28ミクロン+バックング7ミクロン)
 ダブルスティック60ミクロン及び30ミクロン

バックング素材:

ポリオレフィン系樹脂数種類の合成

